



シャーシの管理

この章の内容は、次のとおりです。

- [シャーシの削除および解放に関するガイドライン, 1 ページ](#)
- [シャーシの確認, 2 ページ](#)
- [シャーシの稼働中止, 3 ページ](#)
- [シャーシの削除, 3 ページ](#)
- [シャーシの再稼働, 4 ページ](#)
- [シャーシの番号付け直し, 5 ページ](#)
- [ロケータ LED の切り替え, 7 ページ](#)

シャーシの削除および解放に関するガイドライン

Cisco UCS Manager を使用してシャーシを削除するか解放するかを決定する場合は、次のガイドラインを考慮してください。

シャーシの稼働中止

物理的に存在し接続されているシャーシを、一時的に Cisco UCS Manager 設定から削除する場合は、シャーシの稼働停止を実行します。解放されたシャーシは最終的に再稼働することが予測されるので、シャーシ情報部分は Cisco UCS Manager によって、将来使用するために残されています。

シャーシの削除

削除は、システムから物理的にシャーシを取り外すときに実行されます。シャーシの物理的な削除が完了すると、そのシャーシの設定は、Cisco UCS Manager で削除できます。



(注) 現在物理的に存在し接続されている場合、Cisco UCS Manager からシャーシを削除できません。

削除されたシャーシを設定に追加し直す必要がある場合は、再接続し、再検出する必要があります。再検出中、Cisco UCS Manager は以前シャーシが持っていた ID と異なる新しい ID を割り当てます。

Cisco UCS M シリーズ モジュラ サーバに関する重要な考慮事項

Cisco UCS M シリーズ モジュラ サーバでは、シャーシ ID が x に変わると、そのサービス プロファイルの関連付けも変わります。シャーシ x に前に関連付けられていたサービス プロファイルが、このシャーシに関連付けられます。この結果、新しい仮想ドライブの作成が要求されることとなります。既存の仮想ドライブは孤立状態となります。

このシナリオでは、空き領域の制限あるいはディスク グループの違いにより、仮想ドライブの作成が失敗する可能性があります。いずれの場合も、サービス プロファイルの関連付けを成功させるためには、孤立した仮想ドライブを削除する必要があります。

削除されたシャーシを再プロビジョニングする方法は、新しいシャーシをプロビジョニングする場合と同様です。

シャーシの確認

シャーシをファブリック インターコネクタに接続するリンクの数を増減させた場合は、次の手順を実行します。シャーシを確認することにより、Cisco UCS Manager がリンク数の変化を認識していること、および使用可能なリンクすべてでトラフィックがフローしていることを確認できます。

ファブリック インターコネクタ上でサーバ ポートを作成または削除した後、1 分以上待つしてからシャーシを再認識させます。シャーシを再認識させるのが早すぎると、シャーシからのサーバトラフィックのピン接続が、有効または無効にしたポートに対する変更を使用して更新されない場合があります。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# acknowledge chassis chassis-num	指定シャーシを認識します。
ステップ 2	UCS-A# commit-buffer	トランザクションをシステム設定にコミットします。

次の例では、シャーシ 2 を認識し、トランザクションをコミットします。

```
UCS-A# acknowledge chassis 2
UCS-A* # commit-buffer
UCS-A #
```

シャーシの稼働中止

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# decommission chassis <i>chassis-num</i>	指定されたシャーシを解放します。
ステップ 2	UCS-A# commit-buffer	トランザクションをシステム設定にコミットします。

稼働が停止するまでに数分かかる場合があります。

次の例では、シャーシ 2 を解放し、トランザクションをコミットします。

```
UCS-A# decommission chassis 2
UCS-A* # commit-buffer
UCS-A # show chassis

Chassis:
  Chassis   Overall Status   Admin State
  -----
           1 Operable           Acknowledged
           2 Accessibility Problem   Decommission
UCS-A #
```

シャーシの削除

はじめる前に

次の手順を実行する前に、シャーシを物理的に取り外します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# remove chassis <i>chassis-num</i>	指定したシャーシを削除します。
ステップ 2	UCS-A# commit-buffer	トランザクションをシステム設定にコミットします。

削除が完了するまでに数分かかる場合があります。

次に、シャーシ 2 を削除し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# remove chassis 2
UCS-A* # commit-buffer
UCS-A #
```

シャーシの再稼働

この手順により、シャーシがコンフィギュレーションに再度追加され、このシャーシにシャーシディスカバリポリシーが適用されます。この手順を実行すると、シャーシおよびシャーシ内のすべてのサーバにアクセスできるようになります。

はじめる前に

show chassis decommissioned または **show chassis inventory** コマンドを使用して、稼働停止するシャーシに関する次の情報を収集します。

- ベンダー名
- Model name
- [シリアル番号 (Serial number)]

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# recommission chassis <i>vendor-name model-name</i> <i>serial-num</i>	指定したシャーシを再稼働します。
ステップ 2	UCS-A# commit-buffer	トランザクションをシステム設定にコミットします。 (注) シャーシを再稼働し、トランザクションをコミットした後すぐに show chassis コマンドを実行すると、シャーシの管理状態に変更が見られない場合があります。再稼働後にシャーシの状態が変更するまでに時間がかかることがあるためです。

次に、Cisco UCS 5108 シャーシを再稼働し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# show chassis
```

```
Chassis:
  Chassis      Overall Status      Admin State
  -----
  1 Accessibility Problem  Decommission
```

```
UCS-A# recommission chassis "Cisco Systems Inc" "N20-C6508" FOX1252GNNN
UCS-A* # commit-buffer
UCS-A #
```

シャーシの番号付け直し



(注) Cisco UCS Manager を通じたブレードサーバの番号の再設定はできません。ブレードサーバに割り当てられる ID は、シャーシ内のその物理スロットで決まります。ブレードサーバの番号を再設定するには、サーバをシャーシ内の別のスロットに物理的に移動する必要があります。

はじめる前に

シャーシ間で ID を交換する場合は、まず両方のシャーシを解放し、シャーシ解放 FSM が完了するのを待ってから、番号の再設定手順に進みます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# show chassis inventory	シャーシに関する情報を表示します。
ステップ 2	シャーシインベントリに以下が含まれていないことを確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> 番号を付け直すシャーシ 使用する番号を持つシャーシ <p>これらのシャーシのいずれかがシャーシ インベントリにリストされている場合は、これらのシャーシをデコミッションします。続行前に、デコミッション FSM が完了し、シャーシがシャーシ インベントリにリストされなくなるまで待機する必要があります。これには数分かかる場合があります。</p> <p>どのシャーシがデコミッションされたかを確認するには、show chassis decommissioned コマンドを発行します。</p>
ステップ 3	UCS-A# recommission chassis vendor-name model-name serial-num [chassis-num]	指定したシャーシを再稼働し、番号を付け直します。
ステップ 4	UCS-A# commit-buffer	トランザクションをシステム設定にコミットします。

次に、2つの Cisco UCS シャーシ（シャーシ 8 とシャーシ 9）を稼働停止し、それらの ID を入れ替え、トランザクションをコミットする例を示します。

UCS-A# **show chassis inventory**

```

Chassis   PID           Vendor           Serial (SN) HW Revision
-----
1 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252GAAA 0

```

```

2 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252G BBB 0
3 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252G CCC 0
4 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252G DDD 0
5 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252G EEE 0
6 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252G FFF 0
7 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252G GGG 0
8 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252G HHH 0
9 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252G III 0
10 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252G JJJ 0
11 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252G KKK 0
12 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252G LLL 0
13 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252G MMM 0
14 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252G NNN 0

```

```

UCS-A# decommission chassis 8
UCS-A*# commit-buffer
UCS-A# decommission chassis 9
UCS-A*# commit-buffer
UCS-A# show chassis inventory

```

Chassis	PID	Vendor	Serial (SN)	HW Revision
1	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GAAA	0
2	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G BBB	0
3	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G CCC	0
4	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G DDD	0
5	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G EEE	0
6	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G FFF	0
7	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G GGG	0
10	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G JJJ	0
11	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G KKK	0
12	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G LLL	0
13	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G MMM	0
14	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G NNN	0

```
UCS-A# show chassis decommissioned
```

Chassis	PID	Vendor	Serial (SN)	HW Revision
8	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G HHH	0
9	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G III	0

```

UCS-A# recommission chassis "Cisco Systems Inc" "N20-C6508" FOX1252G HHH 9
UCS-A*# commit-buffer
UCS-A# recommission chassis "Cisco Systems Inc" "N20-C6508" FOX1252G III 8
UCS-A*# commit-buffer
UCS-A # show chassis inventory

```

Chassis	PID	Vendor	Serial (SN)	HW Revision
1	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GAAA	0
2	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G BBB	0
3	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G CCC	0
4	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G DDD	0
5	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G EEE	0
6	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G FFF	0
7	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G GGG	0
8	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G III	0
9	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G HHH	0
10	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G JJJ	0
11	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G KKK	0
12	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G LLL	0
13	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G MMM	0
14	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252G NNN	0

ロケータ LED の切り替え

シャーシのロケータ LED の電源投入

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# scope chassis chassis-num	指定したシャーシでシャーシモードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /chassis # enable locator-led	シャーシロケータ LED の電源を投入します。
ステップ 3	UCS-A /chassis # commit-buffer	トランザクションをシステム設定にコミットします。

次に、シャーシ 2 のロケータ LED の電源を投入し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope chassis 2
UCS-A /chassis # enable locator-led
UCS-A /chassis* # commit-buffer
UCS-A /chassis #
```

シャーシのロケータ LED の電源切断

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# scope chassis chassis-num	指定したシャーシでシャーシモードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /chassis # disable locator-led	シャーシロケータ LED の電源を切断します。
ステップ 3	UCS-A /chassis # commit-buffer	トランザクションをシステム設定にコミットします。

次に、シャーシ2のロケータLEDの電源を切断し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope chassis 2
UCS-A /chassis # disable locator-led
UCS-A /chassis* # commit-buffer
UCS-A /chassis #
```